

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想<中・美術>

特別研修員 美術 中林 真紀子 (中学校教諭)

題材名 『水引で結んで広がる世界』 (第2学年) 全6時間計画



題材のねらい

形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中でのデザインの働きを考え、線材による洗練され調和のとれたデザインのよさを感じ取り、主題を明確にして工夫した表現ができるようにする。

題材構想の意図

本題材では、水引への興味を高めるために、「試す・広げる」過程で基本的な結び方から「折る」「巻く」「編む」「曲げる」「さらに結ぶ」の視点を捉えさせ、発展的な結び方に挑戦させます。そして、変化と統一の調和を意識して構成及び紐の本数や色について構想を練ることができるよう、大中小の水引の大きさに合わせた台紙に試作品を貼ったカードを組み合わせてアイデアスケッチに表させます。「表す」過程では、視点の提示や材料・用具コーナーの設置で自己決定に結び付けられるようにします。「振り返る」過程では、水引の名称と意味を紹介し合い、表現の工夫や美しさを味わえるよう構成します。

過程	主な学習活動	学習への学ぶ意義を見いださせる
	制作の見通しをもたせ、めあてをつかませる	主題を明確にするための構想の工夫の仕方
出会う (1)	1. 制作への見通しをもつ ○様々な水引を鑑賞し、デザインの働きを話し合う。 ○慶事を彩る水引の制作を知り、題材のめあてをつかむ。 題材のめあて 形や色彩などの調和を考えながら構想し、祝い事に花をそえる美しい水引を制作しよう	紐の形や結び方に込められた意味などの知識を土台に水引を鑑賞する学習を通して、装飾デザインの美しさを感じ取らせつつ冠婚葬祭を彩るデザインの働きに興味をもたせ、感じたことを話し合わせる。
	2. 発想・構想する ○基本的な結び方(「蝶結び」「結び切り」「あわじ結び」「梅結び」)を1本の紐で体験する。 ○基本的な結び方を変形させ、台紙に貼って部品カードを組み合わせてアイデアスケッチにまとめる。 変形させた結び方を貼り付けた部品カード アイデアスケッチ	自分ならどんな場面を彩るためにどんな水引を表すか問い掛け、話し合いの内容から題材へと方向付ける。
試す・広げる (2)	3. 構想を基に制作する ○表し方の手掛かりをつかみ、アイデアスケッチを基に、紐の本数や色の組合せ、表し方を工夫し、水引を制作する。 材料・用具コーナー	前時までに作製した部品を変形させる際の視点として、「折る」「編む」「巻く」「曲げる」「まとめる」についての資料を示す。 アイデアスケッチにまとめる際の視点として、「大きさ」「数」「配置」を示し、部品カードを動かしたり、鉛筆でかき加えたりさせる。
	4. 作品を鑑賞し表現活動を振り返る ○水引の名称及び制作意図カードに記入して作品を紹介し合い、生活の中の美術の働きを話し合う。 ○「変化と統一の調和」の視点から紐の本数や色の組合せ、表し方がどうだったかを自己評価する。 発表の様子	表したい表現の思いを明確にさせる 試作した部品を台紙に貼らせ、配置や組合せを操作して自分の感覚で確かめながら、色や紐の本数、全体のバランスを考えさせる。そして、自分が表したいことを主題として言語化させる。
表す (2)		材料・用具を保証し、個別指導を充実させる
		表現の多様性を実感させる
振り返る (1)	~生徒の感想より~ 水引は贈る相手を考えながら結んだり、色合いを工夫したりすることが大切だと思いました。	構想に基づき、紐やはさみ、セロハンテープなどを自由に選べるように、材料・用具コーナーを設置する。紐の色や本数及び紐のたゆませ方の違いによる表現の工夫により、変化と統一の調和による美しさが表れている生徒を具体的に称賛し、自分の取組に自信をもたせる。
		題材の深い学びを自覚させる
		小グループで見つけた友達のを全体で紹介させ、その中で捉えた視点を基に自己評価をさせた上で、水引のもつ慶事を彩る働きを話し合わせる。 本時のめあてに照らしてよさが表れている作品を紹介し、振り返りの視点を確認した上で、振り返りカードに自己評価をさせる。
		慶事を彩る美術の働きが実生活の中で体感できるよう、制作した水引を装飾した祝儀袋の中に手紙を入れ、相手に渡すことを通して、思いを表す色や形について考えを深められるようにする。

指導のポイント

指導例：『水引で結んで広がる世界』（第2学年 第3時）

1 本時のめあてをつかむ。

○基本の結び方を変形させると自分なりの水引ができることを知る。

本時のめあて 基本的な結び方を変形させて、水引で表すものと表し方を考えよう

2 基本的な結び方を変形させ、台紙に貼って部品カードをつくる。

○結び方の変形の視点を捉える。

- ・さらに結ぶ
- ・折る
- ・巻く
- ・編む
- ・曲げる

○結び方の変形を試す。

基本形の結び方

- <蝶結び>
- <結び切り>
- <あわじ結び>
- <梅結び>



○紙に貼って部品カードをつくる。

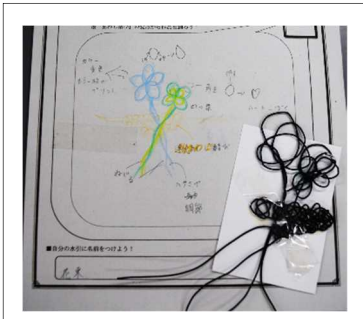
変形



3 部品カードを組み合わせてアイデアスケッチにまとめる。

○試作した部品を台紙に貼り、それを組み合わせたり描き加えたりしてアイデアスケッチに表す。

- ・水引の部品の組み合わせや紐の組み合わせを考える。
- ・必要に応じてかき加えをする。



生徒のアイデアスケッチ

○主題を文で記述する。

主題 ありがとうの感謝の気持ちを伝えるため、花束を色とりどりの色で表現したい。

4 本時の学習を振り返る。

○効果的な工夫の見られるアイデアスケッチを参考にし、自身のアイデアスケッチにどのような視点が反映できたかを見直し、自分なりに構想を練られたことを実感する。

～制作記録表の生徒記述より～

- S：難しかったけど色々な組み合わせができて楽しかった。
- S：あわじ結び二つとハートみたいな形を組み合わせた。
- S：自分なりのアレンジができたのでよかったです。
- S：紐の数を多くすると前のものと全然違いインパクトがあった。

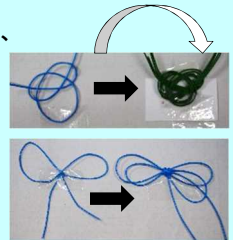
基本的及び発展的な結び方の比較鑑賞によりめあてをつかませる

○前時に作成した基本的な結び方の例とそれを発展させた優れた水引の例を提示し、どのような結び方をすればよいだろうという問いをもたせ、めあてをつかませる。

基本的な結び方の変形を試させ、結び方のイメージをもたせる

○基本的な結び方を提示し、本数を増やす、折る、紐をずらしてたゆませるなど変形させた結び方の例を写真で示し、自分でできそうな結び方をイメージさせる。

基本形から変形へ



部品カードを用い、操作しながら構想を明確にさせる

○試作した部品を台紙に貼り、配置や組合せを操作しながら自分の感覚で確かめ、色や紐の本数、全体のバランスを考えた構想を練らせる。

○「込めたい気持ち」と「形や色のイメージ」を意識して作品の主題を言葉にするよう伝え、水引で表したいことを明確にさせる。

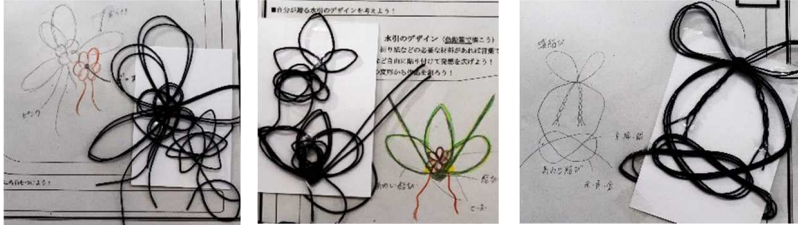
視点を明確にして振り返りをさせる

○題材全体の制作記録表の本時の欄に「基本的な結び方の変形」と「変化と統一」の視点から振り返りを記述するよう伝え、自身の学習と次時の課題を意識させる。

指導例：『水引で結んで広がる世界』（第2学年 第4時）

1 本時のめあてをつかむ。

○生徒のアイデアスケッチを数例見て、前時の学習で主題や構想を明らかにしたことを想起する。



前時までに作成したアイデアスケッチ

○紐の本数や色の組合せ、表し方の工夫により、調和のとれた美しい水引を制作することを確認し、めあてをつかむ。

本時のめあて 変化と統一の調和を意識し、紐の本数や組合せ、表し方を工夫して制作しよう

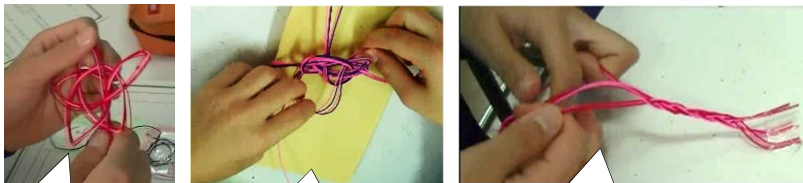
2 表現活動に取り組む。

○資料などを見て、追求の手掛かりをつかむ。

S：前の時間に部品カードをつくる時に考えたことを、よりきれいになるように、改めて意識するといいな。

S：私は、梅結びの形を整えながら、上手にたゆませたいな。

○アイデアスケッチを基に、紐の数や色の組合せ、表し方を工夫して水引を制作する。



梅結びの丸みの角を折って変化を付けているところ

あわじ結びの本数を増やし、2色で結んでいるところ

紐の本数を増やし、上部をテープで留めて編み込んでいるところ

3 本時のまとめと振り返りをする。

○「変化と統一の調和」の視点から、紐の本数や色の組合せ、表し方がどうだったかを自己評価する。

S：金と銀、赤の組合せはきれいだな。形のバランスがとれてうまくいったよ。



指導のポイント

前時の学習を具体物で想起させ、めあてに結び付ける

- アイデアスケッチを示させながら、主題や構想について隣同士で紹介し合わせ、前時の学習を想起させる。
- 構想段階での試しと制作との違いを確認し、本時のめあてをつかませる。そして、各自に気を付けたいことを考えさせ、個々のめあてをつかませる。

追求の手掛かりを視覚的に示し、主体的な態度につなげる

- 「変形する際の視点」を示すとともに、美しいたゆませ方の手順を実物投影機で映し、追求の手掛かりをつかませる。



主題や構想を踏まえた個別指導を行い、自己決定させる

- 変化と統一の調和による美しさが表れている生徒を具体的に称賛し、自信をもたせるとともに、新たな表現を生み出そうとする意欲を高める。
- 変化と統一の調和による美しさを意識した表現まで高まっていない生徒には、主題や意図を問い掛け、構想したことを実現する手順を助言したり、板書に示した資料を参考にしたりするとよいことを伝え、主題や構想に合った表現を自己決定させる。

視点を明確にして、ねらいに照らして振り返りをさせる

- 美しさが表れ始めている生徒の作品を実物投影機で映し、紐の本数や色、たゆませ方などについて具体的なよさを紹介して視点を確認し、ねらいに照らして自身の表現への振り返りにつなげる。

指導例：『水引で結んで広がる世界』（第2学年 第6時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○主題や制作意図を明確にして制作したことを想起し本時のめあてをつかむ。

<完成作品>



本時のめあて 水引の名称と意味を紹介し合い、表現の工夫や美しさを味わおう

名称や理由を記述させ、制作時の思いを整理させる

○自分で結んだ水引の名称とその理由について書かせる欄を作り、どういう気持ちを込めてその形や結び方にしたのか、考えを深められるようにする。

○題材全体の制作記録表の本時の欄に「水引の名称と意味」「表現の工夫と美しさを味わう」という視点から振り返りを記述するよう伝える。

2 水引の名称及び表現意図をカードに記入して作品を紹介し合う。

○主題を表現した水引に名前を付けてその理由を述べた自己評価カードを手元に用意し、机上に水引と自己評価カードを置き、4人班をつくり自己評価カードの内容を発表する。鑑賞者は随時質問を行う。

視点を示して表現のよさに気付かせる

○友達の良いところや工夫したところなどを付箋紙に書いて発表した友達に渡す。

S：あわじ結びの連続で輪がつくられていて花も下の部分が編んであり、とてもきれいでした。

S：水引の構成がハートから円になってつながっていてすごく縁起がいいなと思いました。

○鑑賞する際の視点として、感想には以下のキーワードを使うよう助言する。

<キーワード>

紐の色合い、紐の本数、長さの調節、水引の構成、結び方、編み方、折り方、曲げ方

○数名の生徒が班員の良いところや工夫したところなどを全体で発表する。

○班員の良いところや工夫したところを書き留めた付箋紙を交換する。

全体で班員の作品紹介をする様子



班で作品発表する様子

付箋紙を書き合う様子

小グループで相互鑑賞での見付けたことを言語化させる

○友達作品を鑑賞するだけでなく、言葉で付箋紙によいところや工夫したところなどを書き留めさせ、お互いに付箋紙を交換させる。

○今日の感想を発表する。

S：紐の本数や色合い、長さの調節、編み方についてよく見ることができました。そして、自分の水引の反省点やよかったところなどを知ることができてよかったです。

S：みんな色々な水引を組み合わせていてすごく勉強になりました。相手への思いがちゃんと込められているのが伝わってくる作品が多かったです。

水引を使う模擬活動を提案し、美術の働きを実感させる

3 生活の中の美術の働きについて話し合い、題材のまとめをする。

○制作を終えて感想や水引があることのよさについて話し合う。

～制作記録表の生徒記述より～

S：水引は見たことはあったけど名前や意味を初めて知りました。大人になって誰かに贈る時は今回の授業の知識を生かして贈りたいです。

S：水引は贈る相手を考えながら工夫して結び、一緒に喜びを分かち合うものだと思いました。

○慶事を美しく彩る美術の働きが実生活の中で体感できるように、制作した水引の中に自己評価カードの記述を参考にしながら水引を贈る相手に手紙を書いて渡させる。相手に渡したらメッセージをもらい、次回の授業でそのメッセージを提出することを伝える。

美術科学習指導案

平成30年10月～11月 第2学年 指導者 中林 真紀子

I 題材名 「水引で結んで広がる世界」

II 学習指導要領上の位置付け

A 表現

- (1) イ (ア) 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。
- (2) ア (ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。
(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。

B 鑑賞

- (1) ア (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

[共通事項]

- (1) ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

III 目標

形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中でのデザインの働きと結び付け、線材による洗練された調和のとれたデザインのよさを感じ取り、主題を明確にして工夫した表現ができる。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（3／6）

1 ねらい 変形させた水引を組み合わせてアイデアスケッチに表す活動を通して、単純化と強調による変化と統一の調和のとれたデザインを構想できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○前時に作成した基本的な結び方による水引の例と、基本的な結び方を発展させた優れた水引の資料を提示する。 ○本時は、前時に作成した基本的な結び方による水引を発展させ、主題を生み出して構想をアイデアスケッチに表すことを提案する。		
本時のめあて 基本的な結び方を変形させて、水引で表すものと表し方を考えよう			
2 前時に作成した水引の変形を試す。（25分）	○基本的な結び方による水引の例と、基本的な結び方を「折る」「巻く」「編む」「曲げる」「さらに結ぶ」という視点から発展させた優れた水引の資料を提示する。 ○前時作成した部品を変形させ、試行錯誤の中で部品カードをつくることを伝える。		
3 主題を文で記述し、アイデアスケッチに表す。（15分）	○変形させた水引を基本に、水引の「大きさ」「数」「配置」の視点から発展させた水引の資料を提示する。 ○変形を試したことで見いだした表す意図と表すものを記述できるように構成したワークシートを提示するとともに、台紙に貼った水引を動かしながら組み合わせたり、鉛筆等がかき加えさせたりして、意図を表すものを主題として明確にするよう促す。 ○主題を具現化する水引の形が明確化できた生徒には、色鉛筆で線をなぞるよう伝える。		
水引で表す意図と表すものを記述し、単純化と強調による変化と統一の調和のとれた美しい水引のアイデアスケッチを表している。 <アイデアスケッチ（2）>			
4 本時の学習を振り返る。（5分）	○効果的な工夫の見られるアイデアスケッチを提示し、視点に沿って工夫したことを称賛するとともに、自身のアイデアスケッチにどのような視点が反映できたかを見直すよう促す。 ☆蝶結びの一部を折って蝶々らしくしよう。紐を3本使うときれいになるぞ。		

V 本時の展開（4／6）

- ねらい アイデアスケッチに基づき紐の数及び色、表し方を工夫して表現する活動を通して、紐の結び方や編み方、折り方、曲げ方などを工夫し、変化と統一の調和のある美しい水引を表現できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分） ○前時に取り組んだアイデアスケッチを数点紹介し、作者に意図を発表させる。 ○紐の本数や色の組合せ、表し方の工夫により、調和のとれた美しい水引を制作することを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本時のめあて 変化と統一の調和を意識し、紐の本数や組合せ、表し方を工夫して制作しよう</div>			
2 表し方の手掛かりをつかみ、水引を制作する。（40分） ○前時に用いた紐の加工方法を示した資料を黒板に掲示し、制作に生かすよう促す。 ○同じ色の紐と違う色の組合せで結んだ水引の例や本数及び紐のたゆませ方の違いによる表現の工夫例を提示する。 ○以下の手順で、美しいたゆませ方を演示する。 <ul style="list-style-type: none">・2本の紐を揃えて形をつくる。・2本の紐が重なり合わないよう整える（内側の紐と外側の紐に整え重なりをなくす）。・外側の紐をたゆませて形を整える。 ○机間指導の中で主題や意図を捉え、学習状況に応じて紐の本数や色の組合せ、表し方の工夫の視点から助言したり称賛したりする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">制作の手順を考え、紐の数や色の組合せ、表し方を工夫して変化と統一の調和のとれた水引を表現している。 <作品（3）></div>			
3 本時のまとめと振り返りをする。（5分） ○本時のめあてに照らして顕著なよさが現れている生徒の作品を提示し、よさを紹介する。 ○振り返りカードに自己評価をするよう促す。 ☆金と銀、緑、赤の組合せはきれいだな。形のバランスがとれてうまくいったな。			

本時の展開（6／6）

- ねらい 水引の名称及び制作意図をカードに記入して作品を紹介し合い、生活の中の美術の働きを話し合う活動を通して、自他の作品のよさを味わい、生活の中の美術の働きについて理解できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分） ○制作途中の様子を写した写真をプロジェクタで投影し、水引に込めた意味や制作しながら考えたことについて、振り返るよう促す。 ○数名の生徒に主題や工夫したことなどを発表させた上で、完成した水引を命名しようと提案し、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本時のめあて 水引の名称と意味を紹介し合い、表現の工夫や美しさを味わおう</div>			
2 作品を紹介し合う。（35分） ○次の手順により、小グループで作品を紹介し合うよう指示する。 <ul style="list-style-type: none">・自分の主題を表現した水引の名前とその理由を自己評価カードに記入する。・机上に水引と自己評価カードを置く。・自己評価カードの内容を発表する。・質問があれば随時行う。・友達のよいところや工夫したところなどを感じ取り、感想を付箋紙に書く。 ○「変化と統一の調和」「紐の色合い」「長さの調節」「水引の構成の工夫」などを視点に鑑賞し、具体的に付箋紙に記述するよう助言する。 ○班での鑑賞後、数名の生徒に班員のよいところや工夫したところなどを全体で発表させ、班員のよいところや工夫したところを書き留めた付箋紙を互いに交換させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">水引の名称と制作意図を踏まえて、表現の工夫や作品の美しさについて具体的に記述している。 <付箋紙（4）></div>			
3 題材のまとめと振り返りをする。（10分） ○作品を紹介し合う中で知った友達の意図を発表させる。 ○題材の導入で行なった水引の鑑賞の学習を想起させ、水引が慶事で使われるよさについて感じたことや考えたことを発表するよう促す。 ○自己評価カードに制作した水引の名称及び制作意図を記入するよう指示する。 ○自己評価カードの記述を踏まえて水引を贈る相手に手紙を書くこと、相手に渡したらメッセージをもらい、次回の授業でそのメッセージを提出することを伝える。 ☆私の「梅結び」をシンメトリーで表し工夫したことを認めてもらえた。春の芽吹き在意図も分かってもらえてよかった。 ☆相手のことを考えながら工夫して丁寧に結ぶことで、一緒に喜びを分かち合うのだな。			

指導計画 美術科 第2学年 題材名「水引で結んで広がる世界」(全6時間計画)

目標	形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中でのデザインの働きと結び付け、線材による洗練された調和のとれたデザインのよさを感じ取り、主題を明確にして工夫した表現ができる。			
評価	(1) 形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中のデザインに関心を持ち、水引の表現に意欲的に取り組もうとしている。(美術への関心・意欲・態度) (2) 形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中でのデザインの働きと結び付け、水引を用いた祝い袋を送る場面に応じた主題を生み出し、単純化と強調による変化と統一の調和のとれた美しい水引の表現の構想を練ることができる。(発想や構想の能力) (3) 加工の手順を考えながら、水引の結び方や編み方、折り方や曲げ方、切り方などの造形を工夫して表現できる。(創造的な技能) (4) 形や色彩などを用いて慶事を美しく彩る生活の中でのデザインの働きと結び付け、線材による洗練された美しさを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法 (観点)〉
出会う	1	○形や結び方に込められた意味などの知識を土台に水引を鑑賞する学習を通して、装飾のデザインの洗練された美しさを感じ取らせるとともに、形や色彩などを用いて冠婚葬祭を彩る生活の中のデザインの働きを理解させる。 ○慶事を彩る水引の制作を提案し、題材のめあてをつかませ学習の見通しをもたせる。 題材のめあて 祝い事に花をそえる美術の働きを考え、形や色彩などの調和を考えながら構想を工夫し、美しい水引を制作しよう	☆日本人は「結ぶ」ことに意味を込めたんだね。だから水引を祝い事に花を添えるために使うんだね。 ☆水引で作品を創るのが楽しみな。	◇「結ぶ」という行為と意味を結び付けて、水引に見られるデザインの美しさやよさについて、具体的に記述したり発言したりしている。 <観察・ワークシート (4)>
試す・広げる	1	○「蝶結び」「結び切り」「あわじ結び」「梅結び」について説明を聞きながら実際に結ぶ学習を通して、水引の基本的な結び方を理解できるようにする。 本時のめあて 基本的な結び方に挑戦して、水引の結び方を理解しよう	☆結ぶのは思ったより難しいな。でも、お手本通りにつくったらうまくできたよ。 ☆基本的な結び方を生かして自分だけの水引を表したいな。	◇水引の基本的な結び方に繰り返し粘り強く取り組んでいる。 <観察 (1)>
	1	○変形させた水引を組み合わせてアイデアスケッチに表す活動を通して、単純化と強調による変化と統一の調和のとれたデザインを構想できるようにする。 本時のめあて 基本的な結び方を変形させて、水引で表すものと表し方を考えよう	☆あわじ結びを基に、先を折って花びらを表して花をつくろう。紐を3本使うときれいになるぞ。制作するのが楽しみな。	◇水引で表す意図と表すものを記述し、単純化と強調による変化と統一の調和のとれた美しい水引のアイデアスケッチを表している。 <アイデアスケッチ (2)>
表す	2	○アイデアスケッチに基づき紐の数及び色、表し方を工夫して表現する活動を通して、紐の結び方や編み方、折り方、曲げ方などを工夫し、変化と統一の調和のある美しい水引を表現できるようにする。 本時のめあて 変化と統一の調和を意識し、紐の本数や組合せ、表し方を工夫して制作しよう	☆紐の数を増やして形のグラデーションを意識して調節したらきれいな形になったよ。大きな梅と小さな梅を組み合わせたら華やかになったよ。	◇制作の手順を考え、紐の数や色の組合せ、表し方を工夫して変化と統一の調和のとれた水引を表現している。 <作品 (3)>
振り返る	1	○水引の名称及び制作意図をカードに記入して作品を紹介し合い、生活の中の美術の働きを話し合う活動を通して、自他の作品のよさを味わい、生活の中の美術の働きについて理解できるようにする。 本時のめあて 水引の名称と意味を紹介し合い、表現の工夫や美しさを味わおう	☆私の「梅結び」に込めた春の芽吹き意図を分かってもらえたよ。よかったな。 ☆水引は相手のことを考えながら工夫して結び、一緒に喜びを分かち合うんだな。	◇水引の名称と制作意図を踏まえて、表現の工夫や作品の美しさについて具体的に記述している。 <付箋紙 (4)>